

# Feliz Natal e Feliz Ano Novo !

2023-2024

今日ダビデの町に、あなたがたのために救い主がお生まれになった。  
この方こそ主メシアである。あなたがたは、産着にくるまって飼い葉おけに  
寝ている乳飲み子を見つける。これがあなたがたへのしるしである。  
(ルカ福音書 2, 11-12)

敬愛する横浜港南台教会の皆さまへ

クリスマスおめでとうございます！

この一年も暗闇が世界を覆っているような日々が続き、私たちは平和を求める祈りを続けてまいりました。非道な戦争によっていのちを奪われていく多くの人々、とりわけ子供たちのことを思うと、辛く悲しく、言葉もありません。けれども、御子イエスのご降誕のメッセージによって、現代世界の深い暗闇にもきっと救い主が飼い葉おけに宿られると信じ、希望の光をともし続けています。この私もまた、飼い葉おけとなしてくださいと願いつつ。

♪この身と心を 主のまぶねとなし とわに宿りたまえ♪ (讚美歌 256 番)

地球の反対側にあっても動画配信によって、皆さまと主日礼拝の恵みを分かち合えますことをいつも感謝しています。司式者のお祈りにアーメンと言い、中沢両牧師の語られるメッセージから信仰の糧を受け取りながら、この一年も歩むことができました。ありがとうございます。

今年、5-6月の一時帰国の後は、心身をゆるめてぼんやり過ごす生活が続きました。それでも、9月にはブラジリアの日系教会に招かれて、移民115周年を記念する敬老会でメッセージを担当しました。12月の現在では、大分元気が回復してきたと感じています。

独り暮らしを続けていくために一番の支えとなっているのは、週2回サンパウロ福音教会で行なわれているデイサービス・シャロームでの交わりと昼食です。火、木、合わせて利用者は23名。最高齢者は102歳の男性で、12歳でブラジルへ移住し、97歳までお百姓さんとして生きて来られた方です。シャロームに参加するようになって笑顔が増え、昼食は毎回完食！体操もしっかりされます。また、この12月に100歳になられた方（女性）も、10歳から畑仕事をして学校にも行けなかったけれど、不平や不満を抱かず、すべてを受け入れて自然体で生きてきたと話してくださいました。このようなお年寄りたちとのいのちの触れ合いが、私に慰めと喜びを注いでいます。そして2世、3世のボランティアたちが発揮する創造性や優しさ、シンプルでわかりやすい日本語がとても心地よく、本当にこの活動は小さなシャローム（平和）だと実感しています。

主日礼拝は、引き続きサンパウロ福音教会で守っています。教会員は90歳前後と70代後半が数名、そこに牧師夫妻を入れても10名に満たない小さな礼拝です。私は客員として寄り添っています。数年前にアライアンス教団に所属したので、聖書の読み方がずいぶん異なり、毎週違う牧師が交代で説教するので、私にはあまりご用が回ってきませんが感謝してそこに居ます。

そのような大人の礼拝ですが、最近、近隣の駐在員家庭から子供たちが教会学校に来るようになって、階下のホールは賑やかになってきました。若い2世の夫妻が日本語で奉仕して

います。子供たちの声がするのは久しぶりで、私たち年寄り組は喜んでます。

そしてここ4ヶ月間ほど、これまでに発信してきたブラジル通信をまとめて一冊の本にするという作業に取り組んでいます。ネガティブな思いに沈みがちな私をやり起こして進言くださったのは、尊敬する渡辺英俊牧師です。過去の記録を読み返してみますと、そこにまた、共に歩んでくださった横浜港南台教会の皆さまとの思い出が現れてきて、しばしば懐かしさにひたりながら筆を進めています。

この本の出版によって、神さまのみ心が成りますようにと祈り願っています。皆さまにもお祈りして頂ければ、心強く思います。どうぞよろしく願いいたします。

日頃のご無沙汰を申し訳なく思いつつ、近況を綴らせて頂きました。

御子ご降誕の喜びと希望が、皆さまの間に満ち溢れますように！

来る新年には、社会的にも個人的にも平和と共生の方向へと進んでいくことができますように、心からお祈りいたします。

2023年12月

サンパウロにて

小井沼眞樹子



2023年12月 デイサービス・シャローム、木曜日の集合写真